

昭和四十二年四月二十八日

五六—A B C D

トヨタ自動車、日野との提携第一弾として トヨタプリスカを新発売

トヨタ自動車販売株は、1トン積ボンネットトラックの新型車として、トヨタプリスカ (G110) を、五月十二日より全国で発売する。

扱い店は、全国のトヨタ店系列、(東京は、東京トヨタの他に、東豊トヨペット、協和トヨペットでも扱う。)

プリスカは、従来、日野自動車で生産、販売していたが、昨年、十月十九日、トヨタ自動車と日野自動車とが業務提携をむすんで以来、トヨタ自工で、五四項目、三七〇カ所におよぶ大改良を行い、内容を全く一新し、名前も新たにトヨタプリスカとして販売することになったものである。

新型トヨタプリスカの主な特長はつぎのとおり

1、機動美にあふれた、3人乗り小型トラック

スタイルの基本型は旧型と同じだが、フロントグリル、ヘッドライトリムおよびトツブマークのデザインを一新し、乗用車の感覚にあふれ、トヨタ車にふさわしいものになった。

コンビネーションメーターには、コロナ用を改造したものを採用、メーターパネルまわりのソフトパッド、シートなどに、安全性をふくめてこまかい配慮をしている。ボデー色もブルー(トワイライトブルー)にかえた。

2、高速性、機動性を向上

最高時速は、一一〇KMから一一五KMに、〇→四〇〇Mは、二七・三秒から二六・五秒に、最小回転半径は、五・二Mから五・一Mに、最高出力は、五五/五〇〇〇から六三/五五〇〇PS/r.p.m.に、など高速性能、機動性を大巾に向上させた。

また、エンジンは、高速回転に最適の、5ベアリングのクランクシャフト、4ベアリングのカムシャフト、理想的な燃焼効率をえられるクロスフロー式(エンジンの左右に吸気系、排気系をふりわける方式)の吸排気管系統など、同クラス他車にも数少ない、優れた機構をもった、強力なものである。

3、耐久性、居住性の向上

フレーム関係部品の形状変更、構造簡素化をはかるなどして、車両重量



トヨタプリスカ主要諸元

最大積載量		1,000	エンジン	形式(形状)	水冷直列4気筒
定員		3		内径×行程 mm	71×79
寸	全長 mm	4,265	エンジン	総排気量 cc	1,251
	全幅 "	1,640		圧縮比	8.5
	全高 "	1,545		最大出力PS/r.p.m.	63/5,500
	ホイールベース "	2,520		最大トルクm·kg/r.p.m.	9.9/3,000
法	荷台長 "	1,850	シャシ	トランスミッション	4段2.3.4.シンクロコラムシフト
	荷台幅 "	1,495		フロントサスペンション	ウイツシュボン 独立
	荷台高 "	405		リヤサスペンション	非対称半楕円リーフ
	床面地上高 "	710		ブレーキ前	デュオサーボ
重量	車両重量 kg	1,035	シャシ	ブレーキ後	デュオサーボ
	車両総重量 "	2,200		タイヤサイズ前	6.00-14-6P
性能	最高速度 km/h	115	シャシ	タイヤサイズ後	6.00-14-8P
	登坂能力 sinθ	0.330		燃料タンク ℓ	40
	最小回転半径 m	5.1			

主な諸元は次のとおり。

価格 (単位千円)

東京店頭渡し	510
大阪店頭渡し	522
名古屋店頭渡し	517

を一〇五から一〇三五kgに軽減、エンジン、フレームなどの強度を向上し、ショックアブソーバーの改良を行い、耐久性、居住性を向上させた。

トヨタプリスカに使用された
トヨタ車との主要共通部品一覧

部 品 名	ト ヨ タ 車 名
キ ャ ブ レ タ ー	ト ヨ エ ー ス
エ ヤ ク リ ー ナ ー エ レ メ ン ト	//
コ ン ビ ネ ー シ ョ ン メ ー タ ー	コ ロ ナ
ス イ ツ チ 類	//
オ ル タ ネ ー タ ー	カ ロ ー ラ
イ グ ニ ツ シ ョ ン コ イ ル	//
フ ユ ー エ ル ゲ ー ジ ユ ニ ッ ト	ラ ン ド ク ル ー ザ ー
テ ン プ ゲ ー ジ ユ ニ ッ ト	コ ロ ナ
ア ウ ト サ イ ド バ ッ ク ミ ラ ー	ダ イ ナ
テ ー ル ラ ン プ	ト ヨ エ ー ス
ナ ン バ ー ブ ラ ケ ッ ト	//